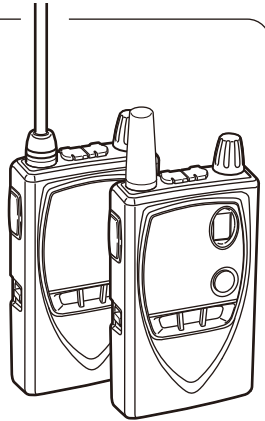
ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー
（総務省技術基準適合品）

DJ-P921

取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。拡張機能やその他情報については弊社ホームページをご覧ください。

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。

アルインコ株式会社 電子事業部

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
大阪営業所 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 エコービル2階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間／10:00〜17:00月曜〜金曜（祝祭日及び12:00〜13:00は除きます）
ホームページ http://www.alinco.co.jp/ 「電子事業」をご覧ください。

PS0836S
FNEH-EF

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
⚠	△ 記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容が描かれています。
⃠	○ 記号は、行為の禁止であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
●	● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は AC アダプターをコンセントから抜け）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告

■使用環境・条件

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。

自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。

電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。
運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障・誤動作する原因となります。
病院や医療機関では、医療機器などに支障がないか十分に確認の上、管理者の許可のもとご使用ください。
無線機を使用したことによって、いかなる誤動作・不具合が生じても、当社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。

このトランシーバーは調整済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。

布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

水をかけたり、水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。

水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

■異常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービス窓口にご連絡ください。お客様による修理は、違法ですから、絶対にお止めください。

- ■異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- ■落としたり、ケースを破損したりしたとき
- ■内部に水や異物が入ったとき
- ■AC アダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

雷が鳴り出したら安全のため本体の電源を OFF にし、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器のAC プラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

ぬれた手で充電器のAC アダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

充電器のAC アダプターを、AC コンセントに確実に差し込んでください。AC アダプターの刃に金具などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

充電器のAC アダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

■使用環境・条件

テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

アンテナを誤って目などにささないようにしてください。

イヤホン / マイクロホン端子にはオプションのイヤホン / マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外になります。

■充電器の取り扱いについて

充電器のAC アダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ずAC アダプターを持って抜いてください。

充電器のAC アダプターを熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります

■保守・点検

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

本体や充電器のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。

汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。
ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質する恐れがあります。
洗浄剤などを直接無線機に吹き付けないでください。
機器内部に浸透し故障の原因となります。

製造番号ラベルをはがさないでください。
製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。

使用前のご注意

■ご使用環境
本機は防水構造ではありません。
雨や雪が直接かからないように使用し、濡れた場合はすぐに乾いた布で拭き取ってください。
高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

■分解しないで
特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

■ご使用禁止場所
本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
（航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺）

日本国内でのみ使用できます。
This product is permitted for use in Japan only.

■通信距離
通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。
- ・海上、山頂など条件のよい所　：2kmまたはそれ以上
- ・河原など障害物のない平地　：500m〜1km程度
- ・見通しのよい道、郊外の住宅地　：500m程度
- ・市街地のような障害物の多い所　：200m程度
- ・ショートアンテナでの通信距離は半分程度になることがあります。

■障害物
本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、または山や丘陵等の障害物があると通信できる距離が短くなります。

■バッテリーセーブ
電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約5秒間キー操作がないとこの機能が動作します。
信号を受信するかキー操作がおこなわれるとバッテリーセーブは解除されます。
バッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合がありますが異常ではありません。

■電池について
市販の単三形充電池はご使用になれません。
電圧、容量、寸法などの仕様が弊社製品と合わないおそれがあり、故障の原因となります。
種類の異なる電池や、古いものと新しいものを混ぜて使用しないでください。
発熱や液漏れなど、故障の原因となります。
アルカリ乾電池の使用をお勧めします。マンガン乾電池は容量が小さく使用可能時間が短くなります。

■第三者による傍受
電波を使用している関係上、無線機間の通話は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。そのため機密を要する重要な通話に使用することはお勧めできません。

■本機のセットモードには「グループトーク」機能が搭載されています。
従来製品とグループトークによる通話をおこなった際、会話が途切れることがあります。
このような場合はセットモードの「トーンマージン拡張」機能をＯＮにしてお試しください。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3 分制限（3 分以上は連続で送信できません）

送信、受信あわせて 3 分以内です。
10 秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計 3 分になると自動的に送信は停止します。

注意 3 分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約 2 秒経たないと次の送信はできません。

キャリアセンス（受信中は送信できません）

一定の強さ以上の信号を受信しているときは PTT キーを押しても送信できません。
受信中に PTT キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意 ビープ音を OFF にしているとアラーム音は鳴りません。

付属品と取り付け方

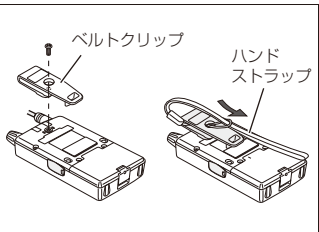
付属品をご確認ください。

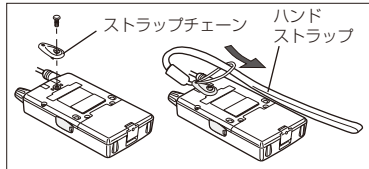
- □ベルトクリップ（ネジ 1 本）
- □ハンドストラップ
- □ストラップチェーン
- □取扱説明書（本書）
- □保証書

注意 保証書にご購入の日付が記載されていないときは、領収書、レシートを保証書といっしょに保管してください。
ご購入日を証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。
補足シートや正誤表が入っている場合は、それらも併せて保管して下さい。

ベルトクリップの取り付け

1. ベルトクリップを付属のネジで本機に取り付けます。
2. ハンドストラップをベルトクリップの穴に通します。

注意 定期的にネジにゆるみがないか点検してください。
ベルトクリップは消耗品です。
スペアー部品として販売していますので、
お買い求めの際は販売店にご相談ください。
ベルトクリップ：EBC-30

ストラップチェーンの取り付け

1. ストラップチェーンを付属のネジで本機に取り付けます。
2. ストラップチェーンの穴に、ハンドストラップを取り付けます。

電池の入れ方

1. カバーを開ける
   ①ロックを外します。
   ②カバーを開けます。
2. 電池を入れる
   ケース内の＋・－の印と合わせて、新しい単三形乾電池を２本入れます。
3. カバーを閉める
   ①ツメを合わせます。
   ②カバーを閉めます。
   ③ロックをかけます。
   →きちんと閉まったことを確認してください。

1　ロック
2
3

注意 単三形乾電池を２本入れてください。
＋・－の向きが違わないように注意してください。

電池容量表示

電池の残容量は10秒に1度ディスプレイに3段階で表示されます。セットモードの設定で電池容量表示をOFFにすることもできます。

「電源が入らない」「ON ／ OFF を繰り返す」
「ディスプレイ表示が消える」「ハウリング」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられます。
新しい電池と交換してください。
しばらくご使用にならないときは、必ず電池を取り外してください。

電池容量に余裕があります。
電池容量が減少してきました。
電池の交換時期が近づいています。

メモ 電源切り忘れ防止のため無操作状態が30分以上続いた場合、プププというアラーム音が鳴ります。以後10分おきにアラーム音が鳴り電源がONのままであることをお知らせします。

ディスプレイ

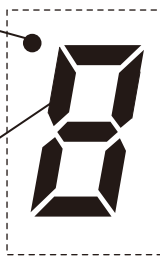
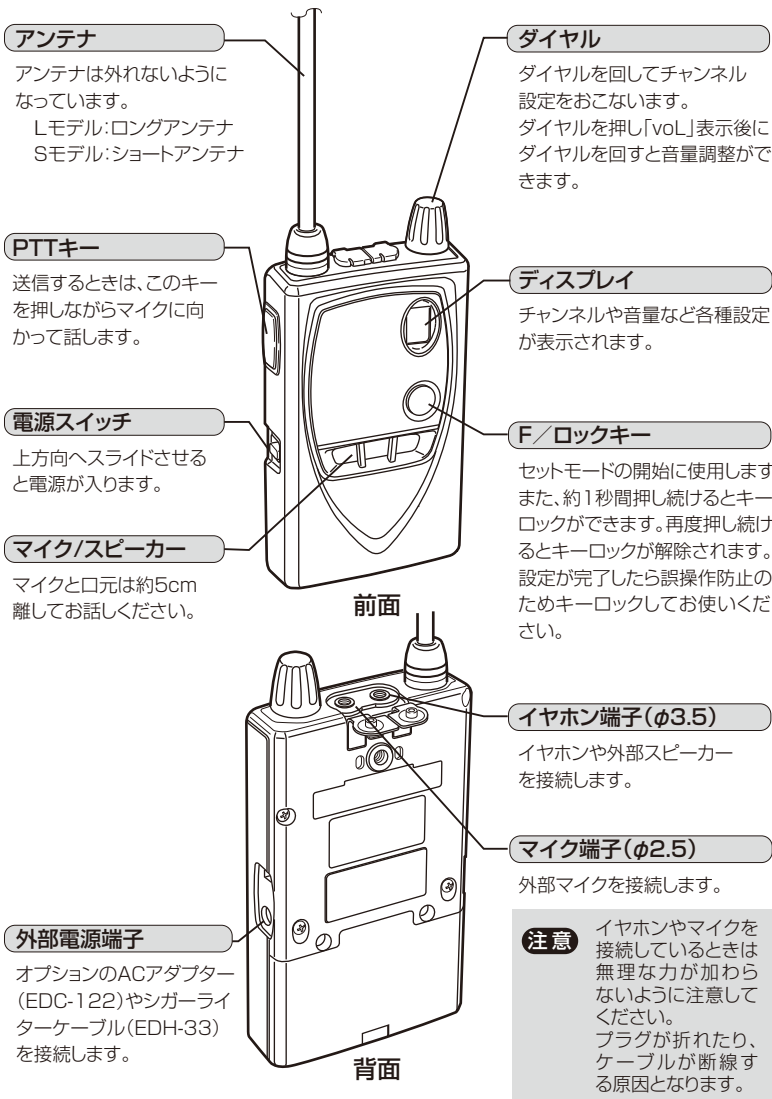
ポインタ

送信中に点灯します。電波受信中にも点灯します。
数字表示と同時に点灯し、各種状態を表します。

数字表示器

チャンネルや音量、各種設定状態を数字やアルファベットにより表します。
また、電池の残量を10秒に1度、3本のバーでお知らせします。

チャンネル表示
本機には交互通話モードと中継モードが搭載されています。
チャンネルを変更するにはダイヤルを回します。ダイヤルを回した後、5秒間チャンネル番号を表示します。
従来の特定小電力トランシーバーと周波数の互換性はありますが、本機特有のチャンネル番号表示となりますので、以下の表を参考にお使いください。

交互通話（t）モード		中継通話（r）モード	
本機の表示	従来機のチャンネル	本機の表示	従来機のチャンネル
1 〜 9	L01 〜 L09	0 〜 8	L10 〜 L18
ポインタ点灯+1 〜 ポインタ点灯+11	b01 〜 b11	ポインタ点灯+2 〜 ポインタ点灯+9 ポインタ点滅+0 〜 ポインタ点滅+9	b12 〜 b19 b20 〜 b29

各部の名前と基本操作

電源の入れ方

本体左側の電源スイッチを上方向へスライドさせます。

交互通話　t→1→消灯
中継通話　r→0→消灯

キーロックしているときは「L」を表示します。

交互通話　t→L→1→消灯
中継通話　r→L→0→消灯

送信の仕方

交互通話(t)ではPTTキーを押しながらマイクに向かって話します。
中継通話(r)ではPTTキーを押し続け「ピピ」という音が鳴ってからマイクに向かって話します。

音量調整

① ダイヤルを押します。
→「v」→「o」→「L」→「音量値」が表示されます。
② ダイヤルを回して音量値を調整します。
→表示中にダイヤルを回すと音量が増減できます。
音量値は30段階(0〜29)で増減できます。
③ 希望の音量値を選択したら[PTTキー]を押して設定を完了します。

音量表示

キーロック

ロックキーを約1秒間押し続けると「L」表示を点滅しキーロックができます。再度押し続けるとキーロックが解除されます。

緊急警報機能

ダイヤルを3秒間押し続けると緊急警報を発します。
本機のスピーカーから警報音を鳴動するとともに、警報音を送信します。

イヤホン断線検知機能

電源ON時にイヤホンが断線していることを検知すると、ビープ(ブブブ)音とディスプレイ表示「EArnG」でお知らせします。
正しく接続されていることを確認したり、新品のイヤホンと交換してください。

通話モード

本機には2つの通話モードが搭載されています。

交互通話(t):　交互通話チャンネルを使用してトランシーバーどうしで直接通話するモードです。
中継通話(r):　中継通話チャンネルを使用して、別売の中継器を介して通話するモードです。
通話エリアを広げることができます。

通話モードの切り替え

ダイヤルを押しながら電源スイッチをONにする操作を繰り返します。
中継通話(r)→交互通話(t)→中継通話(r)→…の順に通話モードが切り替わります。
工場出荷状態では交互通話モードです。

リセット

設定状態がわからなくなったときに初期化します。

パートリセット:　[Fキー]を押しながら電源を入れます。
通話モードを保持したまま、設定項目を初期化します。

オールリセット:　[Fキー]と[ダイヤル]を同時に押しながら電源を入れます。
通話モードやすべての設定項目を初期化します。

故障とお考えになる前に

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。表示が消える。	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。 新しい電池と交換してください。
	電池が消耗している。	乾電池を交換してください。 充電池を充電してください。
音が出ない。受信しない。	音量が低すぎる。	適切な音量に調整してください。
	チャンネルが違う。	同じチャンネルに合わせてください。
	グループ番号が違う。	同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	信号を受信している。	信号がなくなってから送信するか、 チャンネルを変更してください。
	3 分の通信制限時間を超過している。	PTTキーを離し2秒以上たってから送信してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
	送信中である。	送信を止めてください。
充電しない	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。
	充電池が専用品でない。	専用充電池EBP-57Nを使用してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。
電池が消耗していると誤動作することがあります。新しい電池に交換してください。

生産終了製品に対する保守年限に関して

生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。
不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありますのでご了承ください。
補修用部品の保有期間は生産終了後５年です。

オプション一覧

詳細はホームページをご覧ください。

EBP-57N	ニッケル水素充電池セット	EDC-121A	ACアダプター付き充電器
EDC-121R	連結充電スタンド連結ケーブル付属	EDC-122	ACアダプター
EDH-33	シガーDC/DCコンバーター	ESC-39	ソフトケース
EME-6	ストレートコードイヤホン	EME-52A	イヤホンマイク（オープンエア）
EME-26	カールコードイヤホン	EME-53A	ヘルメット用ヘッドセット
EME-50	ストレートコードイヤホン	EME-34A	イヤホンマイク（カナル型）
EME-21A	イヤホンマイク（グレー）	EME-49A	イヤホンマイク（オープンエア）
EME-21AB	イヤホンマイク（黒）	EME-39A	咽喉イヤホンマイク
EME-29A	イヤホンマイク（耳かけ型）	EME-57A	イヤホンマイク（カナル型耳かけ）
EME-30A	イヤホンマイク（ブーム型）	EME-51A	イヤホンマイク（耳かけ型）
EME-31A	イヤホンマイク（マイクロ）	EMS-59	スピーカーマイク＊

＊VOX機能はお使いになれません。

セットモード

各種機能を用途やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

セットモードにする。

① [Fキー]を押し[F]点灯中にダイヤルを押します。
→セットモードに入り項目が表示されます。
② [ダイヤル]を押すごとに項目が切り替わります。
→切り替わりとともに「ドレミ音」が鳴ります。
③ [ダイヤル]を回し設定のON/OFFや状態を選択します。
④ [PTTキー]を押して設定を完了します。

メモ　セットモードについての詳しい内容は弊社ホームページをご覧ください。
http://www.alinco.co.jp/　[電子機器]→[ダウンロード]

セットモード	機能	選択項目	初期値
t−−	グループトーク	−−、01〜50	OFF(−−)
CHG	トリクル充電　※	OFF／ON	OFF(ポインタ消灯)
bS	バッテリーセーブ	ON／OFF	ON(ポインタ点灯)
EndP	エンドピー(送信終了音)	ON／OFF	ON(ポインタ点灯)
bEEP	ビープ(操作音)	ON／OFF	ON(ポインタ点灯)
SqL	ノイズスケルチ	ON／OFF	ON(ポインタ点灯)
bAtt	電池残量表示	ON／OFF	ON(ポインタ点灯)
PttoFF	送信禁止	OFF／ON	OFF(ポインタ消灯)
PttHoLd	PTTホールド	OFF／ON	OFF(ポインタ消灯)
CALLbC	コールバック	OFF／ON	OFF(ポインタ消灯)
vo	VOX(音声検出送信)	−、L、H	OFF(−)
At	中継接続手順	2、1、0	At2
tonESP	トーンマージン拡張	OFF／ON	OFF(ポインタ消灯)
GAin	マイクゲイン	1〜7	4

※トリクル充電とは微小電流による補充電です。外部電源端子にACアダプター(EDC-122)を接続し、本機の電源を入れている状態でのみ充電できます。
ニッケル水素充電地(EBP-57N)を満充電にするには約40時間を要します。

注意　単三形乾電池を装着しているときは絶対に充電しないでください。
液漏れなどの原因となります。

充電池および充電器(オプション)

充電池、充電器に関するアクセサリーは下記のとおりです。

EBP-57N　ニッケル水素充電池(1.2V/1800mAh/2本セット)
EDC-121A　ACアダプター付き充電器
EDC-121R　連結充電スタンド(連結ケーブル付属)
EDC-122　ACアダプター

充電池は出荷時には十分に充電されておりません。お買い上げ後に満充電してからご使用ください。充電器(EDC-121A/EDC-121R)を使用して、空のニッケル水素充電池(EBP-57N)を満充電するのに要する時間は約12時間です。

注意　市販の単三形充電池は仕様や形状が異なるためご使用になれません。
弊社の充電器は対応する弊社製品専用です。市販の充電池を充電することはできません。

充電方法(EDC-121A)

① トランシーバーにニッケル水素充電池(EBP-57N)を装着します。
② ACアダプターのプラグを充電スタンド背面のIN側端子に接続します。
③ ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
④ トランシーバーの電源を切って充電スタンドに装着します。
⑤ 充電が開始すると赤色ランプが点灯しますが、本機種は充電が完了しても赤色ランプが消えませんので、約12時間経過したらトランシーバーを充電スタンドから取り外してください。

連結充電方法（EDC-121A ＋ EDC-121R）

充電スタンドを連結接続して、最大5台のトランシーバーを同時に充電できます。

① 充電スタンドどうしのIN側端子とOUT側端子を連結ケーブルで接続します。
② 端の充電スタンドのIN側端子にACアダプターのプラグを接続します。
③ ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
④ トランシーバーの電源を切って充電スタンドに装着します。
⑤ 充電が開始すると赤色ランプが点灯しますが、本機種は充電が完了しても赤色ランプが消えませんので、約12時間経過したらトランシーバーを充電スタンドから取り外してください。

メモ　充電器にトランシーバーを装着してもうまく充電しないときは、充電端子の汚れを乾いた布や綿棒で拭き取ってください。

注意　ニッケル水素充電池は、その特性上、使い切る前に無駄な追い充電をすると劣化を早めます。
ニッケル水素充電池を保存するときは、満充電した状態で高温多湿を避けて保存してください。
ニッケル水素充電池を6ケ月以上ご使用にならなかったときは、一時的に性能が低下し使用時間が短くなることがあります。
その場合は下記の方法でニッケル水素充電池のリフレッシュをおこなってください。

① トランシーバーにニッケル水素充電池を装着します。
② 指定の充電器を使用して満充電した後、トランシーバーの電源を入れたまま放置します。
③ 「ディスプレイが減電池表示を示す」「トランシーバーの電源が切れる」など、電池を使い切るのを待って再度充電をおこなってください。
④ 上記の要領で充放電を3回程度繰り返します。

リフレッシュをおこなってもニッケル水素充電池の使用時間が著しく短い場合は寿命が尽きたものと思われます。新しいものにお取り替えください。

定　格

送受信周波数	交互通話チャンネル	422.0500 〜 422.1750MHz 422.2000 〜 422.3000MHz
	中継通話チャンネル	421.5750 〜 421.7875MHz（受信） 440.0250 〜 440.2375MHz（送信） 421.8125 〜 421.9125MHz（受信） 440.2625 〜 440.3625MHz（送信）
電波形式	F3E（FM）	
送信出力	10mW	
受信感度	-14dBu（12dB　SINAD）	
音声出力	70mW 以上（8 Ω）	
通信方式	単信（交互）／半複信（中継）	
定格電圧	DC2.4V 〜 3V（単三形電池 2 本）／ DC4.5V 〜 6V（外部入力）	
消費電流	送信時 約 100mA ／受信定格出力時 約 180mA ／ 受信待ち受け時 約 100mA ／バッテリーセーブ時 約 17mA	
動作温度範囲	-10 〜 +50℃	
寸　法	58（W）× 100（H）× 19（D）mm（突起物除く）	
アンテナ長	L：175mm ／ S：33mm	
重　量	L：86g ／ S：82g（本体のみ）	

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略したりしている場合があります。